**▶文字によるコミュニケーション**

年　　　月　　日

**年生保護者の方へ**

（学校名を入れる）

　今の子ども達のコミュニケーションは、インターネット上の文字でのやりとりが中心となっています。利点としては、メッセージや写真などの送受信、共有が簡単にでき、複数のグループでやりとりすることができます。いつでもつながることができる上に記録も残すことができます。しかし、文字だけのやりとりだからこそ、受け止め方の違いなどがトラブルやいじめの要因になることもあります。

　学校では、「文字によるコミュニケーション」という授業を行いました。インターネット上の文字だけのコミュニケーションを利用するとき、気をつけるべきことについて、ご家庭でも話し合っていただきますようお願いいたします。

**１．話すようには伝わらない。**

　文字だけの情報は、表情や声色などが伝えられないため、意図しない内容で受け止められることがあります。例えば「いいよ」という言葉は、了解とも拒否とも受け取れます。話すようにやりとりができるツールでも、「話すようには伝わらない」ことを意識し、意図が伝わりやすい文章を送る大切さについて日頃から話し合いましょう

**２．相手の立場に立って考える。**

　子ども達は、特定の友人だけで構成したグループを複数作り、やりとりをしています。しかし、意図的にグループから外し、噂、陰口、当人が望まない写真等を送り合う行為はいじめです。特定の友人のグループを作ることが悪いわけではありませんが、外された当人の立場に立ってやりとりするようにと伝えてください。インターネット上のやりとりは記録され、拡散することもあります。拡散した情報は削除できません。

**３．困ったときは必ず相談しましょう。**

　子どもだけでインターネット上のトラブルを解決することは難しいのです。困ったときは、家族、学校の先生、いじめ相談機関に相談することを日頃から伝えておきましょう。